

新報

島根県教育庁
隠岐教育事務所
隠岐の島市港町塩口24
電話2-9772

令和三年度の 学校支援計画について

一学期も半ばを過ぎ、新入生は学校生活にも慣れ、その他の児童生徒についても新しい学年でまた一つ大きく成長した姿で学習活動を中心に様々な活動に取り組んでいることと思います。昨年度は、年度初めの臨時休業、学校再開後も様々な教育活動が制限され、これまで通りの活動ができず、先生方も児童生徒も我慢を強いられた一年でした。学校では授業時数の確保やできる活動の中で児童生徒の思いを受け止めながら充実した教育活動に取り組んできたことと思います。このような状況の中ではありましたが、授業改善、生徒指導、特別支援教育の充実を図るため、たくさんの学校

から訪問の申請をいただきました。昨年度の学校訪問について学校からの声を振り返りつつ、今年度、力を入れていきたい点をお伝えします。

○授業づくりに係る支援

・隠岐教育事務所独自で実施した研究主任会は、若手や経験の浅い研究主任が他校と情報交換したり、助言をもらえたりして有意義であった。

・学校訪問をすべて学校からの申請希望にしたことで、学校の実態に応じた支援につながった。

・若手教員への支援の申請が増え、単元を通じた授業作り支援だけでなく、学級経営や生徒指導に視点を当てた総合的な支援の充実が図られた。

★今年度は、授業改善や校内研究の推進に役立つよう、

研究主任会の様子や管内研究主任の取り組みについて積極的に情報発信していきます。

○生徒指導に係る支援

・コロナ禍で学校行事等に制限がある中、校内での活動を充実させる工夫により、積極的な生徒指導が行われていた。

・生徒指導主任・主事の先生方を中心に、児童生徒の個々の状況をしっかりと把握し、組織的に生徒指導に当たっている様子が見られた。

・スクールカウンセラーの活用も計画的、効果的に進められ、児童生徒のケアや見取りが充実していた。

★今年度は、経験の浅い生徒指導主任・主事への支援や個別の対応の支援の充実を図っていきます。

○特別支援教育に係る支援

・学校訪問を通して、学校独自の特別支援体制について把握し、支援の必要な児童生徒への指導・支援をどのように進めていく

ことが必要か一緒に検討することができた。

・各校とも管理職のリーダーシップと特別支援教育コーディネーターを中心とした支援体制が充実していた。

・自立活動のねらい、自立活動の指導のあり方について校内研修に加わり、自立活動への理解を深めることができた。

・ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた授業づくりがされていた。

・個別の教育支援計画、個別の指導計画を軸にした校内委員会が開かれており、個々の児童生徒の目

標を達成するための具体的支援を明確にした指導と支援がされていた。

★今年度は、保小中高と個々の児童生徒に関する実態や課題を切れ目なくつないでいくことが重要であるため、特別支援コーディネーターを中心として、学校間の連携を密にし、児童生徒が不安無く学べるよう校内体制づくりの支援を行います。

各学校では、年度当初、校長先生の学校経営方針を受け、教職員の皆さんが同じ方向を向き、児童生徒の指導に当たっておられると思います。コロナ禍の中、

研修のための時間や場所の確保等が厳しい状況にあることから、教職員一人一人の資質と学校の教育力を向上させるために校内で行うOJTが大変重要です。我々スタッフ一同微力ではありますが少しでもそのお手伝いができればと考えております。

教育事務所として今後も「担当者への支援」と「教育団体等への支援」を柱として、学校や先生方の要望に応じた支援を心がけていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。(文責 億岐)

種別	学 校 名	等 等	
等 業 事 定 指 年 度 3 和 令	子ども読書活動推進事業	管内全小中学校	令和三年度
	にこにこサポート事業	西ノ島小学校・西郷小学校・中条小学校	令和三年度
	ふるさと教育推進事業	管内全小中学校	令和三年度
	いじめ対応支援事業	全町村	令和三年度
	スクールカウンセラー活用事業	管内全小中学校	令和三年度
	スクールソーシャルワーカー活用事業	全町村	令和三年度
	教育支援センター等運営事業	隠岐の島町	令和三年度
	「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善プロジェクト事業	都万小学校・海土中学校	令和元～三年度
	幼小連携・接続研究事業	五箇小学校(こか保育園)	令和二・三年度